

平成 28 年 4 月入学

大 学 院

生物システム応用科学府
(BASE)

生物機能システム科学専攻
博士後期課程(博士)
学生募集要項(第4次募集)

東京農工大学

本学府のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれずに幅広く学生を受け入れる。

高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を広く国内外から受け入れる。

(後期課程)

指導予定教員との連絡について (必須)

出願にあたっては、志望する指導予定教員へ連絡をとり、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。

また、合格した場合は、指導予定教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

生物システム応用科学府 (BASE) 事務室

平成 28 年 4 月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻博士後期課程 (博士) 学生募集要項 (第4次募集)

本専攻は前期課程 (修士) と後期課程 (博士) からなり、この募集要項は後期課程 (博士) についてのものである。

本学府に関する概要、所属教員の研究内容等については別添案内「東京農工大学大学院生物システム応用科学府」を参照のこと。

1 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備考
生物機能システム応用科学	若干名	募集人員には、外国人留学生若干名及び社会人特別選抜を含む。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位を有する者又は専門職学位を有する者及び入学する月 (4月) 前までに当該学位を取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月 (4月) 前までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月 (4月) 前までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法 (昭和51年法律第72号) 第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学 (以下、「国際連合大学」という。) の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学する月 (4月) 前までに当該学位を取得見込みの者
- (6) 外国の学校、上記 (4) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準 (昭和49年文部省令第28号) 第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者
- 注) 「出願資格 (7)・(8)」により出願する者は、事前審査を行う。(「出願資格 (7)・(8) の認定について」7頁参照のこと。)

3 出願期間

平成28年2月15日(月)から2月16日(火)まで。
窓口受付時間は、9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

4 出願手続

一般選抜により受験を希望する者は、「5 一般選抜(3頁)」の項を参照し、また社会人特別選抜により受験を希望する者は、「6 社会人特別選抜(4頁)」の項を参照し、所定の出願書類等を出願期間中に事務室へ郵送すること。封筒の表に「博士後期課程出願書類在中」と朱書きし、書留速達で送付すること。2月16日(火)までに到着したものを受理する。

出願書類提出先及び問い合わせ先

東京農工大学大学院生物システム応用科学府事務室
〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学小金井キャンパス内 BASE本館(2階)
TEL 042(388)7217(直通)

5 一般選抜

一般選抜は、学力検査と書類選考を総合して行う。

身体に障害がある者で受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、大学院生物システム応用科学府事務室へ申し出ること。

(1) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入すること。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真（タテ4cm×ヨコ3cm）を貼付すること。
C	修了（見込）証明書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了（見込）証明書を提出すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者は、提出不要。
D	成 績 証 明 書	出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者は、提出不要。
E	修 士 論 文 の 概 要 (所 定 用 紙)	博士前期課程又は修士課程修了者及び大学院に在学中の者は、修士論文の内容を日本語で2,000字（英語の場合は500words）以内に要約した概要を提出すること。なお、修士論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者は、提出不要。
F	研 究 計 画 書 (所 定 用 紙)	博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめること。なお、作成に当たっては、必ず志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
G	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	本学研究生（指導教員が本学府の教員である場合に限る）は、提出不要。
H	住 民 票 の 写 し 等	1) 外国人は、住民票の写し（国籍等在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。）又は、パスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。
I	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕 ※本学の学府・研究科から引き続き本課程に進学する者及び入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
J	受 付 用 シ ー ル 及 び 連 絡 受 信 先 シ ー ル (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。

(2) 学力検査

提出された修士論文の概要と研究計画などを参考にして関連する専門分野及び語学の試験を行う。

なお、論文等を外国語で発表している場合には、書類審査の上、語学の試験を行わないことがある。

(3) 学力検査日及び、場所

検査日：平成28年2月22日（月）～23日（火）

場 所：東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験日時・会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

6. 社会人特別選抜

(1) 趣 旨

近年の生物システム応用科学の目覚ましい進展に伴い、社会の各方面から本学府で対象とする専門分野のエキスパートの養成が強く求められている。このような社会の要請及び専門技術者の再教育の必要性に應えるため、本学府博士後期課程では、社会人を積極的に受け入れ、大学と社会との一層の交流を目指す。

(2) 選抜方法

各種研究機関、教育機関、企業等に1年以上勤務中の者又は最終学校卒業後1年以上職にあった者については、一般選抜とは別に学力検査と書類選考を総合して選抜を行う。

身体に障害がある者で受験上特別な配慮を希望する者は、大学院生物システム応用科学府事務室へ申し出ること。

なお、一般選抜との併願は認めない。

(3) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入すること。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼付すること。
C	修 了 証 明 書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了証明書を提出すること。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は、提出不要。
D	成 績 証 明 書	出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は、提出不要。
E	研 究 業 績 一 覧 (所 定 用 紙) 及 び 研究業績等の別刷	研究業績等(学術論文、研究発表・報告、特許等)について記入し提出すること。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合にはそれらも併せて提出すること。
F	在 職 (在 籍) 証 明 書 (様 式 随 意)	主な職歴について、所属長等が作成し職務内容及び在職期間が明記された在職(在籍)証明書を提出すること。
G	研 究 計 画 書 (所 定 用 紙)	博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめること。なお、作成に当たっては、必ず志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
H	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	志望理由を横書きで2,000字以内にまとめること。
I	住 民 票 の 写 し 等	1) 外国人は、住民票の写し(国籍等在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。)又は、パスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。
J	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕
K	受 付 用 シ ー ル 及 び 連 絡 受 信 先 シ ー ル (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。

(4) 学力検査

提出された研究業績、研究計画などを中心に、関連する専門分野についての口述試問を行う。

(5) 学力検査日及び、場所

検査日：平成28年2月22日(月)～23日(火)

場 所：東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験日時・会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

7 合格者発表

合格者は、平成28年3月4日(金)午前10時、小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表する。

合格者には受験票により確認のうえ合格通知書等を交付する。なお、合格者発表日において合格通知書等を受け取ることができない合格者に対しては、合格通知書等を郵送する。

8 入学手続

(1) 入学手続日時及び場所

平成28年3月17日(木)

13時30分～16時まで。

東京農工大学小金井キャンパス内BASE本館1階講義室(予定)

(2) 入学に要する費用等

① 入学料……282,000円

② 授業料……年額 535,800円(前期分267,900円、後期分267,900円)

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書(所定用紙)を提出しなければならない。

(支払った入学費用等は、返却できませんので、ご注意ください。)

また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。

なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。

(4) その他

身体に障害がある者で修学上特別な措置を希望する者は、大学院生物システム応用科学府事務室へ申し出ること。

9 注意事項

(1) 出願に当たっては、志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。

(2) 学力検査には必ず、受験票を携帯すること。

(3) 出願手続後における提出書類の内容変更は、認めない。

(4) 本要項及び大学からの指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。

(5) 入学試験に関する照会は、2頁に記載の出願書類提出先とする。

(6) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。

(7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻さない。

(8) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者に通知する。

10 教育研究分野教員一覧

教育研究分野名	教 員 名
物質機能設計	教授 荻野賢司
	准教授 Wuled Lenggoro
物質機能応用	教授 銭衛華
	准教授 稲澤 晋
物質機能分析	教授 中田宗隆
	准教授 橋本洋平
生体医用フォトンクス	教授 岩井俊昭
	准教授 西館 泉
生体モデル知覚システム	教授 齋藤隆文
	准教授 田中雄一
環境機械システム	准教授 石田 寛
	准教授 池上貴志
生体・環境応用システム	教授 山田 晃
	准教授 上田祐樹
資源生物創製科学	教授 梶田真也
	准教授 鈴木丈詞
物質エネルギーシステム	教授 神谷秀博
物質エネルギー設計	准教授 富永洋一
エネルギーシステム解析	教授 秋澤 淳
生物情報計測システム	准教授 梶田晃司
食料安全科学	教授 佐藤令一
生物応答制御科学	准教授 梅澤泰史
生態系型環境システム	教授 豊田剛己
環境モニタリングシステム	准教授 赤井伸行

出願資格（7）・（8）の認定について

出願資格の認定とは、本学府への出願資格の有無を判定するためのものであり、下記のとおり実施する。

1. 申請書類受付日時

受付日……平成28年2月2日（火）～2月3日（水）

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

受付場所……小金井キャンパスBASE本館（2階）大学院生物システム応用科学府事務室

なお、やむを得ず郵送する場合は、必ず封筒の表に「博士後期課程出願資格認定書類在中」と朱書し、書留速達で送付すること。2月3日（火）までに到着したものを受理する。

2. 提出書類等

ア) 出願資格認定申請書（所定用紙）

イ) 卒業証明書（出身大学等最終学校長が作成したもの）

ウ) 成績証明書（出身大学等最終学校長が作成し厳封したもの）

但し、卒業後10年以上を経過した者については、提出する必要はない。

エ) 4頁に掲げる出願書類のうち、E、F、Hを提出すること。

3. 認定審査

本学府において、提出書類及び面接等により認定審査を行う。

4. 認定結果

平成28年2月10日（水）午前10時に、小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表する。

5. 出願手続

出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様に出願手続を行うこと。

11 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約25分) 南口から徒歩約8分
武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町2丁目24-16 ☎ (042) 388-7217 (直通)

東京農工大学大学院生物システム応用科学府

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL. <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外の目的に利用することはありません。